

国道4号仙台拡幅^{はこづつみ}(箱堤交差点立体化)

東北最大規模の交差点、2月8日に立体部分へ交通切り替え

国土交通省が事業を進めている国道4号 仙台拡幅 延長 6.0km のうち、
仙台市^{わかばやし}若林区^{おろしまち}卸町～宮城野区^{みやぎの}苦竹^{にがたけ}の延長 1.4km について、
令和7年2月8日(土)午前5時に立体部分へ交通切り替えすることとなりましたので、お知らせします。

< 今回の交通切り替えによる主な整備効果 >

- 渋滞の改善による事故の減少が期待
- 走行環境の改善による物流の効率化が期待

1. 日時: 令和7年2月8日(土)午前5時 立体部分へ交通切り替え

- ※天候等の理由により日時に変更が生じる可能性があります。
- ※交通切り替えの際、一時的に通行規制を行いますので、交通誘導員の指示に従い通行されますようお願いいたします。

2. 区間: 仙台市^{わかばやし}若林区^{おろしまち}卸町～宮城野区^{みやぎの}苦竹^{にがたけ} (延長 1.4km)

◎今回の交通切り替え区間 1.4km は、立体部分への交通切り替え後も側道部分の工事を実施して参ります。

交通規制等でご迷惑をおかけしますが、安全第一で工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎立体部分への交通切り替えにより、通行方法が変更になります。

詳細は仙台河川国道事務所ホームページからご確認いただけます。

URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/r4/kakufuku/tuukou.html>



記者発表先: 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

国土交通省	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	電話: 022-248-4131(代表)
	副所長	^{なるみ} 鳴海 ^{よしのり} 芳紀	(内線 205)
	工務第二課長	^{わこう} 若生 ^{こうき} 孝喜	(内線 411)

渋滞の改善による事故の減少が期待

- 国道4号では朝ピーク時に箱堤交差点を先頭とした約6.6kmの渋滞が発生しており、ボトルネックとなっている。
- 箱堤交差点は死傷事故率が県内直轄国道平均の約3.3倍と高く、渋滞に起因すると想定される追突事故が全体の約8割を占めている。
- 箱堤交差点の立体化により、旅行速度の向上と事故の減少が期待される。

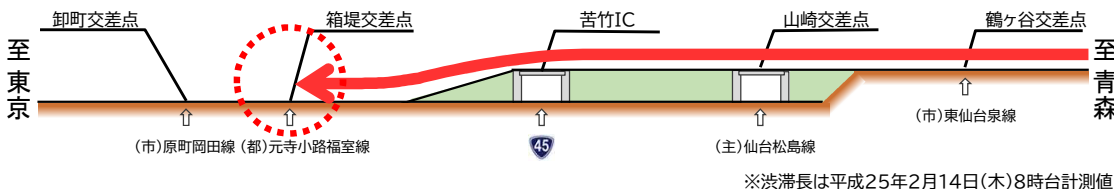
▼国道4号仙台拡幅 箱堤交差点立体化 縦断面図

現状

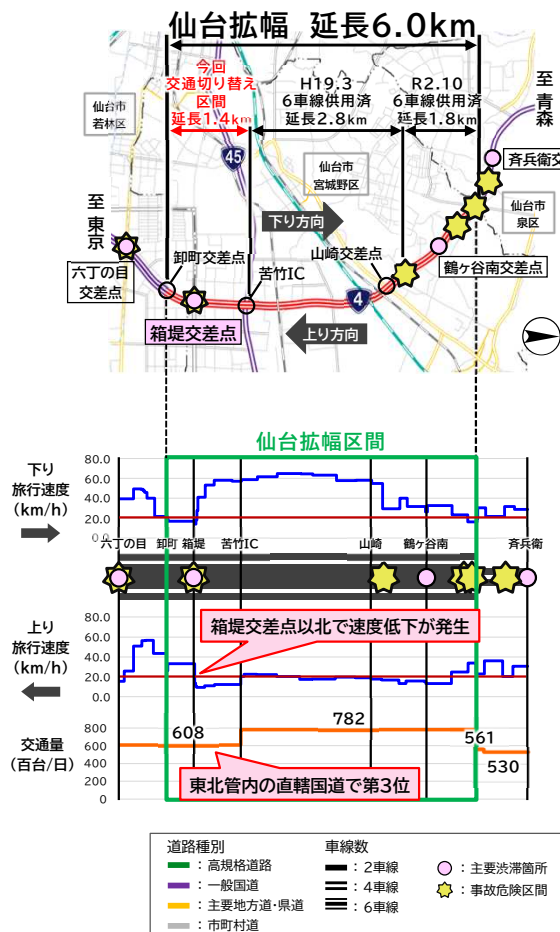


箱堤交差点を先頭に
渋滞が発生

渋滞長約6.6km

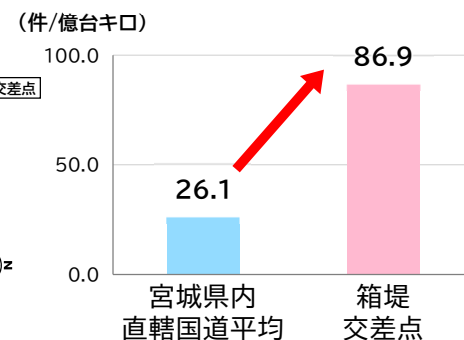


▼交通混雑による旅行速度の低下



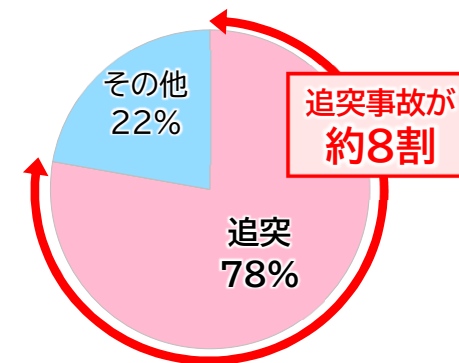
▼箱堤交差点の死傷事故率

宮城県内直轄国道平均の約3.3倍



出典: イタルダデータ(R1-R4)

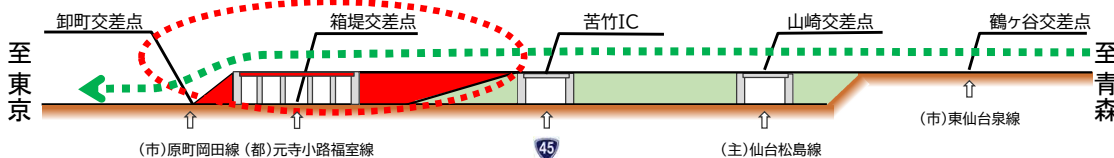
▼箱堤交差点の事故類型内訳



出典: イタルダデータ(R1-R4)

今回交通切り替え後

立体化により
渋滞改善・事故減少が期待



平面交差点⇒立体交差点

【国道4号沿線住民の声】

○通勤時に富谷市から仙台市内の会社に向かう際、渋滞に備えてかなり早めに出発していました。箱堤交差点の立体化によって移動時間が短縮し、余裕をもった行動ができそうです。

出典: Webモニターアンケート調査結果(R6.10)



